

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。  
 ※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

<p><b>研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート</b></p> <p>※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、&lt;award@ml.nits.go.jp&gt;宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</p>	<p>※事務局記入欄</p> <p><b>受理No. : D-50</b></p>
<p><b>【学校名・氏名】戸田市立戸田第一小学校（受講時：笹目東小学校）</b> 高橋 博美</p>	<p><b>【応募部門】</b></p>
<p><b>【修了研修名】平成30年度 第1回校長研修</b></p>	<p><b>校内研修プログラム開発・実践部門</b></p>
<p><b>【活動名】校内研修の推進 ～社会に開かれた教育課程を踏まえて～</b></p>	
<p><b>解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？</b></p> <p>○新学習指導要領を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」に向けた、授業改善を推進する必要があった。また、戸田市の教育「戸だっ子につけさせたい能力」として、「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知スキル」を身に付けさせる必要もあった。</p> <p>○戸田市の教育改革が進む中、最前線である学校の授業改善に向け、教職員の意識改革は十分に図られていないことが課題であった。</p> <p>そこで、校内研究を「資質・能力」育成と、ブルーオーシャン戦略として「リーディングスキル育成」を視点とし「教師が変わる・授業が変わる・子供が変わる」を研究主題として推進していくことを課題として設定した。</p>	
<p><b>目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？</b></p> <p>○目標 全教職員が「主体的な学びを可能にするリーディングスキルを育む授業」をできるようにする。</p> <p>○計画 全教科等を研究対象とし、教職員一人一人が研究対象を選択し、実践する。（主体性）研究授業3名、ブロック授業3名、残り全員が「1人1実践」を行う。（根拠は授業の事実）教科等グループ、低中高学年ブロックの縦・横の情報共有により、教科等の「見方・考え方」を超えたカリキュラムマネジメントの視点を持つ。（クロスカリキュラム）</p>	
<p><b>活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。</b></p> <p>○講演会 「リーディングスキルの現状と課題」戸田市教育委員会指導主事      ・リーディングスキル及びリーディングスキルテストの理解      ・①係り受け解析、②照応解決、③同義文判定、④推論、⑤イメージ同定、⑥具体例同定の理解とその伸ばし方</p> <p>○実態把握 本校6年生児童のリーディングスキルテストの結果と分析      ・イメージ同定、具体例同定の弱さが課題</p> <p>○外国語研修 主体的手対話的で深い学びを実現する英語授業      ・クラスティーチャーとしての英語授業とモジュール授業の実際      ・デジタル補助教材「SWITCH ON!」の効果的な活用</p> <p>○タブレット活用研修 導入された160台のクロームブックの活用研修会 株式会社 LoiLo から      ・「新しい学び」を実現する Chromebook(クロームブック)の使い方</p>	

<p><b>活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。</b></p> <p>○中学校区合同研修会 富士電機 IT ソリューション      ・協議：学力実態の共通理解と授業改善について      ・アクティブ・ラーニングに向けた ICT 活用</p> <p>○コミュニティスクール（拡大学校運営協議会）研修会      ・「熟議：笹っ子にどのような力を身に付けさせるか～地域と共にある学校に向けて～」      ・教職員、学校運営協議会委員、PTA 役員、参加希望保護者で語り合う      ・話し合いツール「えんたくん」の活用による少人数での協議→シェアリング</p> <p>○リーディングスキル授業研究会 4年生国語科「オセロの実況中継をしよう」      ・指導助言：国立情報学研究所社会共有知研究センター長・教授 新井紀子 氏      ・市内リーディングスキル研究員との合同研修      ・話し合いツール「まなボード」の活用による少人数での協議→シェアリング</p> <p>○授業研究会 1年生図工科、4年生社会科、5年生国語科      ・指導助言：戸田市教育委員会指導主事      ・ICT 学習支援ソフト（ベネッセミライシード）を活用したグループ協議→全体協議</p> <p>○ブロック授業研究会 2年生体育科、3年生体育科、6年生算数科      ・指導助言：戸田市教育委員会指導主事他      ・話し合いツール「まなボード」の活用による少人数での協議→シェアリング</p> <p>○一人一実践      ・全教員が、自分が研究したい教科等の授業を行う。      ・本時のねらい、育てたいリーディングスキル（①～⑥）、対話の場面を明示した「授業案」を配布。      ・教科グループは必ず参観し、ビデオ撮影、授業後協議会の実施。</p>
<p><b>活動の成果：※それによって、どんな成果が得られましたか？</b></p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の意識化      ・単元を通して主体的学び、対話的な学び、深い学びを行っていくこと      ・課題の大切さ、子供の思考の流れの予想、対話の広がりへの支援方法</p> <p>○教科固有の「見方・考え方」の理解とカリキュラムマネジメントの視点の意識化      ・1 単位時間で身に付けさせたいことを明確にもつこと      ・「思考させる」「話し合わせる」場を設定すること（「話し合いたい」「解決したい」問いの重要性の自覚）</p>
<p><b>アピールポイント（アイデアや工夫）：</b></p> <p>○「やりたい教科の研究」が教師の主体性を引き出すこと      ○多様な教科等の授業により、教科固有の「見方・考え方」「特性」と共通する内容への理解が進むこと      ○リーディングスキルという先端研究に携われたこと      ○研究協議で ICT 活用することにより、全職員が授業に転用できるしかけをしたこと</p>